



## 《教育目標》

- 自らの将来を切り拓く
- 自らの責任で判断し行動する
- 心豊かに、他者と協働する

## 《校訓》

- 開拓
- 自律
- 協和

## 1 スクールミッション

「未来を描け、自分を創れ」をスローガンに、「自分で考え、行動できる人」を育成する。「自らの将来を切り拓く」・「自らの責任で判断し行動する」・「心豊かに他者と協働する」を教育目標とし、本校の教育活動の3本柱である「授業・行事・探究」を通じて、本校生徒の活力・人間力を更に向上させる。

## 2 スクールポリシー

## (1) グラデュエーションポリシー

3年間の継続的な指導により、自己肯定感、コミュニケーション能力、挑戦する心と探究心等を身に付けさせ、人間力を向上させる。

## (2) カリキュラムポリシー

習熟度、少人数授業等による個に応じたきめ細かい指導、学習指導要領の趣旨に基づく授業等を行うことにより、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「学びに向かう力、人間性等」を育成・涵養する。育成等に当たっては、生徒の変容・成長を適切に把握する。

## (3) アドミッションポリシー

自分の強みを認識し進路を切り拓くため、目標をもって学習や特別活動等に積極的に取り組む生徒の入学を期待する。

## 3 学校経営に当たっての基本的な考え方

- 生徒・保護者、教職員、地域社会の三者全てが関わり合い響きあう、健康で良好な関係を目指す。
- 生徒の成長を中心に据えながら、全教職員が、学校経営への参画意識を高め、組織の一員として職務に当たる。
- 生徒が安全・安心であたたかな学校生活を送ることを担保する。

## 4 中期目標及び方策

## (1) 中期目標

- ア 学習指導要領の趣旨に基づいた授業を行い、生徒の学力を確実に向上させる。
- イ 一人1台端末を有効に活用することで、個別最適な学びと協働的な学びの実現を図る。
- ウ 進路指導に当たっては、学習指導や生活指導とも関連付けて行い、希望する進路の実現に向けて生徒の可能性を最大限に引き出す。
- エ 学習と部活動を両立できる生徒の育成を図る。このことにより、社会人に必要な資質・能力を身に付けさせる。
- オ 基本的な生活習慣を確立させる。
- カ 心と身体の健康を目指すとともに、他者に対する思いやりと情緒豊かな心を培わせる。
- キ 本校への入学を希望する生徒等を安定的に獲得する。
- ク 全ての教職員が組織の一員としての自覚をもち、組織的に職務に当たる。

## (2) 方策

## ア 学習指導

- ・カリキュラム・マネジメントを確実にを行うことにより、主体的・対話的で深い学びを実現する。
- ・教員の創意工夫により、「分かる授業」、「魅力ある授業」を行う。

## イ 進路指導

3年間の計画的かつ系統的な進路指導により確実なキャリア教育を行うことにより、社会人に必要となる資質・能力を培う。

## ウ 生活指導

時間厳守、身だしなみ、挨拶の励行、登下校マナーについての指導を行うことで、生徒が規律を守った学校生活を送ることのできる環境を整える。

## エ 特別活動・部活動

本校の部活動の指針に基づく活動内容の充実及び部活動の加入率の向上を図るとともに、高槻祭（文化祭）等の学校行事等を通して、人間関係の形成や社会参画意識の涵養を図る。

#### オ 健康づくり

心身の健康づくりのための組織的・計画的な取組を実践する。

#### カ 広報・募集活動

学校見学会及び学校説明会、中学校訪問並びにウェブページの活用等により、本校の情報発信に努める。

#### キ 学校経営・組織体制

企画調整会議を機能させ、組織的な取組を行うことにより、学校経営計画に記載した目標等の実現を図る。

### 5 令和8年度の教育活動の取組目標と方策

#### (1) 学習指導

ア スクールポリシーに基づいた各教科の授業等の実施により「確かな学力」を身に付けさせる。

- ・生徒の実態に即した目標の設定
- ・放課後や長期休業中の講習・補習の実施

イ 習熟度別少人数授業（数学）、少人数授業（国語、英語、家庭）、多展開授業（体育）を実施することで、きめ細かい指導を行う。

ウ 東京都教育ビジョン（第5次）、「未来の東京」戦略及び「東京都学校教育情報化推進計画」に基づき、主体的・対話的で深い学びを実践するため、ICT機器等のデジタル技術を積極的に活用する。

エ 「東京グローバル人材育成計画'20」及び「東京グローバル人材育成指針」に基づき、グローバル人材育成の基盤となる英語力を伸長するため、JET・ALTを効果的に活用することで、英語によるコミュニケーション能力の一層の向上を図る。また、海外学校間交流に取り組み、その成果を校内で共有することにより国際感覚を醸成するとともに、多文化共生の精神を涵養する。

オ 家庭学習を習慣化する取組と指導を行う。併せて、各種の検定に挑戦させる取組と指導を行う。

- ・週末課題の実施
- ・オンラインによる学習支援サービスの活用

カ 授業規律の徹底により、規範意識の醸成を図る。また、授業を通して集中力や学習への取り組む姿勢を向上させる。

- ・生徒の始業前着席、教員の始業時刻及び終業時刻の厳守による50分の授業時間の確実な実施

キ 学力向上及び検定試験対応のための平日の放課後補講や個別指導を実施する。

- ・「学力向上研究校」として、定期的な学力分析を行うことによる授業等の改善
- ・教科及び学年等が連携を図り、定期考査前の学び直しの実施等の個に応じた指導の実施

ク 「人間と社会」の体験学習を充実させることで、生徒の自己理解を深めるとともに、社会の一員であること及び協働的に取り組むことの重要性の認識を深める。

- ・外部団体及び大学生等による講演、交流の実施
- ・地域におけるボランティア活動への参加
- ・職業理解講座（大学及び専門学校、社会人）の実施

ケ 「総合的な探究の時間」等における指導により、教科横断的な知識・技能の習得やデータ分析力、論理的思考やプレゼンテーション能力の向上を図る。

- ・卒業課題の充実
- ・「得意な才能を伸ばす教育」の推進
- ・外部人材を活用した個に応じたきめ細かな指導の充実

コ 図書委員会の活動を活性化させるとともに、生徒の読書活動を促進する。

- ・ビブリオバトルの推進
- ・図書館の利用促進

#### (2) 進路指導

ア 3年間の計画的かつ系統的な進路指導（1年：調査、2年：体験、3年：実現）により、希望進路の実現を図る。

- ・1年：職業リサーチ、外部講師の講演会の実施
- ・2年：進路説明会、外部講師の講演会、体験授業、上級学校訪問の実施
- ・3年：教科担当者及び担任、進路指導部が緊密に連携をとり、面談や補習、個別指導の実施
- ・全学年：キャリア講演会、外部講師による進路学習の実施

イ 大学進学希望者には一般受験に挑戦することを奨励し、就職希望者には職業観、勤労観の育成を図ることにより、自己発見・自己実現に繋げ、生徒のより主体的な進路選択を促進する。

#### (3) 生活指導

ア 「都立高校生活指導指針」に基づき、基本的な生活習慣が身に付く確実な生活指導を行う。

- ・毎朝の校門での生活指導、安全教育指導の実施
- ・教職員による毎日の遅刻防止、身だしなみ、挨拶、正しい自転車の乗り方（事故をゼロにする）等の指導の実施

イ 集団での指導を通して集団の一員としての自覚を養うことにより、規範意識や協調性を培わせるとともに、盗難をゼロにする。

- ウ 思いやりの心を育むとともに、日頃より生徒の観察を通じて生徒の状況を把握することにより、いじめの未然防止、早期発見・早期対応に努める。
- エ 「自殺対策基本法」、「自殺総合対策大綱」に基づき、生徒の自殺対策に資する教育に取り組む。
- ・いじめを把握するアンケートを年間に3回実施
  - ・教員を対象とした研修を行い、デジタル技術を効果的に活用しながら、生徒の変化を早期に発見する
  - ・保護者やスクールカウンセラー等と密に連携することにより、生徒の心の良好な健康状態を維持
- (4) 特別活動・部活動
- ア 道徳教育の全体計画やホームルーム年間計画に基づく指導により、高槻祭（文化祭）、体育祭、合唱祭などの学校行事に主体的に取り組ませることで、向上心、責任感、協調性、コミュニケーション力を身に付けさせ、好ましい人間関係を育む。
- ・高槻祭、体育祭、合唱祭等の行事に積極的にかつ主体的に参加させる指導の実施
- イ 生徒会や委員会活動の充実を図り、生徒が主体となって活動する機会を増やすことで、生徒の自己肯定感と自治的活動への参画意識が高まるよう支援する。
- ・外部人材を活用し、生徒の活動を支援
  - ・生徒の発想を活かす指導、活躍できる場や機会を意図的・計画的に設定
- ウ 部活動の加入率を高め、一層の活性化を進める。
- (5) 健康づくり
- ア 「TOKYO ACTIVE PLAN for students」を基に実施する体力テストの分析結果に基づいた授業等を行うことにより、生徒の体力の向上を図る。
- イ 「東京都特別支援教育推進計画(第二期)第二次計画」に基づき、障害のある生徒の状態や教育ニーズに応じた支援・指導を行う。
- ウ 教育相談を充実させることにより、生徒の心のケアに努める。
- エ 特別な支援が必要な生徒には組織的に対応する。
- オ アレルギー対応に関する教職員の研修を行い、生徒情報を共有し連携して事故防止に取り組む。
- カ 明るく健康的な学習環境を実現するため環境整備、美化に努める。
- (6) 広報・募集活動
- ア 学校見学会、学校説明会、中学校訪問、部活動の体験入部等を実施することにより、本校の志望者を確保する。
- ・教職員が全員で学校見学会等で案内役を担うことにより、本校の特色や魅力を組織的に発信する。
- イ ウェブサイトや学校紹介動画、学校案内パンフレット等を積極的に活用することにより、広報活動の量と質の両面を充実させる。
- (7) 学校経営・組織体制
- ア 地域及び近隣校との交流を定期的・計画的に実施することにより、地域に根ざした学校を目指す。
- イ 企画調整会議、職員会議、各委員会、朝の打合せ等において、合理的で効果的な運営を行う。
- ウ 研究授業を中心に若手教員の育成を組織的に行うことにより、教職員の間で授業力や生徒指導力の向上の機運を高める。
- エ 「学校における働き方改革推進プラン」及び「学校における働き方改革に関する取組目標」に基づき、各種会議の上限時間の設定、見直しをもった業務の遂行、定時退庁の推奨等により超過勤務時間を削減し、ライフ・ワーク・バランスを実現することにより、教職員の心身の健康を保つとともに、活力のある職場を目指す。
- オ 行政系職員と教員との連携を一層密にすることにより、行政系職員の学校経営への参画意識を更に高める。
- カ 服務事故防止研修の確実な実施等、あらゆる機会を通して教職員の教育公務員としての規範意識を高く保つことにより、体罰、不適切な指導、暴言等の服務事故を1件も発生させない。

## 数値目標

項目	令和8年度数値目標	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
生徒の学校満足度	85%以上	83.6%	85.2%	85%	89%	91.0%
現役進路決定率	97%以上	96.8%	90.0%	90.1%	94.8%	92%
遅刻者数(クラス1日)	1.5人以下	4.1人	2.9人	5.8人	2.9人	2.39人
部活動加入率	80%以上	62%	60%	63%	75%	74%
入学者選抜1次応募倍率	1.1倍以上	0.69	0.88	1.11	0.97	0.82
学校説明会等参加者	1300人以上	1160人	1086人	1294人	871人	983人